



南アフリカ新聞号外⑧

SABONA

鈴木 壮太

「しばらく6年生のクラスの教員が休むから明日から6年生の算数教えてくれるか?」と、いつもの調子で急をお願いされました。急なお願いはもう慣れっこ…。というわけにはいかず、いつまで経っても慣れません。元々の予定を急に変更するのは少々やっかいです。しかし私が断ってしまうと、6年生の算数の授業が全て自習になります。そうすると教室が混沌としてしまうため、担当教員が休みの1週間だけ6年生の算数指導をすることになりました。初めてのクラスで授業をするあのドキドキ感が好きです。最近は5年生や7年生のクラスで授業をしていたこともあり、6年生のクラスでも私のことを認識してくれました。名前を呼んでくれる子、笑顔で迎え入れてくれる子、不安そうな表情の子、チャイナ!と叫ぶ子、様々でした。

今回は、そんな6年生との授業と、その課題について書きます。

6年生との授業がスタート!しかし…

<宿題について>

6年生指導初日。前日に算数担当教員(4年生から教科担任制)から出された宿題の確認から始めることにしました。しかし児童のワークブックを見ると、ほぼ空欄もしくは雑な字で適当に記入してあるだけでした。90%以上の児童が宿題をきちんとやってきません。なぜでしょう。児童に聞いてみると、いつも予習として宿題(ものすごく多い量で驚きました。)をやってくるとのことで、量の多い、内容の分からない宿題を出されることで、宿題に対するやる気を失ってしまうのでしょうか。教員が予習として宿題を出し、

仮に児童がそれをきちんとこなしてくる場合、教員はある程度ラクに授業が進められるかもしれませんが、しかし、予習としての宿題は児童の実態に合っておらず、負担が大きすぎます。

【算数担当教師への提案】

- ・ 算数担当教員と共に、宿題の量と内容について確認し合う必要がある。
- ・ 宿題を出したら翌日に全員分添削(もしくは確認)する。確認できないのであれば、宿題は出さない。児童は宿題をやってもやらなくても教員にチェックされない、もしくは評価されない場合、やる気を失う。
- ・ 始めのうちは、5分あれば終わりそうな宿題で良い。こっそり授業の合間等に学校でやる児童が増える可能性があるが、初手の段階では翌日までに宿題が終わってれば良いことにする。
- ・ 既習事項の復習として宿題を出す。(予習では負担が大きい。)

<授業を受ける態度>

授業開始とともに、児童は起立してあいさつをします。しかし、友だちと話しながら席を立つ児童もいれば、起立しない児童もいて、あいさつの段階からぐだぐだでした。授業のあいさつがしっかりできるようになるまで、何度もあいさつをさせます。始めはそれだけに5分ほどかかっていました。ワークブックのページを開くだけでも教室がざわつきます。何か指示を出すたびに教室がにぎやかになっていては授業が成立しません。教科書をすぐさま閉じさせて、また指示をし直します。問題を解いている最中に友だちと話している場合は、その場で立たせました。厳しいようですが、授業を受ける態度は徹底します。しかし、文句を言う児童は1人もいませんでした。話もよく聞くようになってきたし、積極的に挙手もするし、頑張ろうとする子が多かったように思います。しかし、いくら児童に対し

て学習規律を身に付けさせようとしても、教員が授業中に頻繁に教室からいなくなってしまうたり、電話をし始めてしまったりしたら説得力がありません。当たり前ですが教員が授業中にしっかり授業をする必要があります。まずは教員の授業に対する姿勢を改めない限りは、児童に指導していくことは難しいです。しかし、こちらの文化では仕事より私用が優先されることがしばしばあります。息子の結婚式の準備のためクラスを自習にしたり、車の修理をするから早めに帰ってしまったり…。クラスの児童が教室に放置されてしまう原因のひとつです。

【児童への指導と教員への提案】

- ・ 無駄話をしない。(徹底する)
- ・ 教員は授業中に授業をする。(少なくとも教室内にいる。)
- ・ 教員が教室を空ける場合は自習を用意する。



集中して問題を解く6年生児童。紙の向きと書く姿勢が独特。



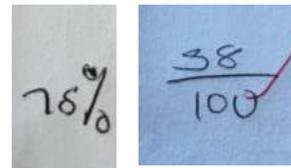
割合、百分率(%)の学習。

<文字指導>

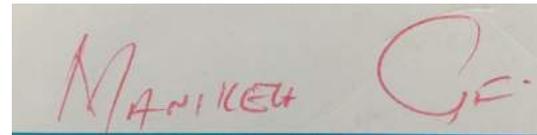
児童の書く字が読みにくいことがあります。少し書き方にクセがあるのと、単に雑なのが混ざって、読みにくく感じます。日本のようにきちんと文字指導を受けることなく、そのまま学年が上がっていってしまうことが原因のひとつかもしれません。ということで、字を丁寧に書かないと読み手に伝わらないため、読みやすい字で書くように伝えました。そして、丁寧に書いてきた児童をしっかりと評価していきます。

【教員への提案】

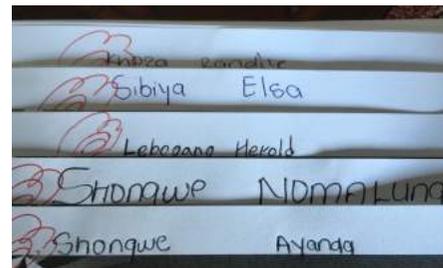
- ・ 読みやすい字で書かせる。そしてそれを評価し、習慣づけていく。



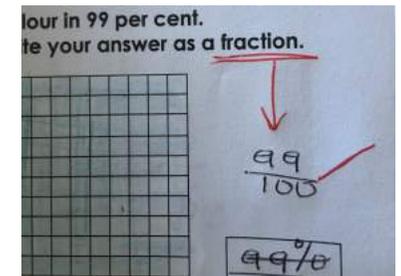
数字が読みにくい。左の数字は75%と書かれたもの。右の数字の分子は58。始めのうちは現地の人が書く数字を読むのに一苦労。とくに5と7が読みにくい。



教科書に書かれた名前。最初のMA以外理解するのに時間がかかる。



まずは自分の名前をきちんと書かせる。



間違えた回答をそのままにせず、正答を必ず書くようにする。

いつも始めのうちは算数指導の前に、基本的な学習規律についての指導が主になります。1週間では短すぎるので半年くらいは彼らと授業がしたいところではあります。授業をメインで行ったこの1週間は、とても充実していたのは確かです。内心はもっと授業をたくさんやりたいのですが、私がいる間だけ児童の学力を上げて持続可能な支援にはなりません。そのため、再び教員への働きかけの方に重点を置き直していきます。

高学年を教える際の難しい点は、児童が既習事項を理解できていない状況でカリキュラム通りに授業を進めなければならないことです。基本的な足し算引き算ができない児童に対して、割合の単元を教えるのは難しかったため、本当に基礎的な部分しか教えることができませんでした。しかし6年生と過ごす中で、活動に関する課題も見つけることができ、私自身とても勉強になる1週間でした。